

○農林水産省における最近のリスクコミュニケーション等の実施状況

■本省における意見交換会等の開催

【平成20年度】	計 18回
【平成21年度】	計 19回
I P M	2回
植物検疫	1回
動物検疫	1回
食品安全セミナー	15回

■地方農政局等における意見交換会等の取組

【平成20年度】	
シンポジウムや意見交換会等の開催	1,572回
※本省と連携して開催したものを含む	
パネリストや講師の派遣	3,098回
【平成21年度】	
シンポジウムや意見交換会等の開催	1,277回
※本省と連携して開催したものを含む	
パネリストや講師の派遣	2,334回

■ウェブサイトやメールマガジンを通じた情報提供

メールマガジン「食品安全エクスプレス」

食の安全と消費者の信頼の確保に関するHPの公表情報等を毎日発信
(配信数：15,523通(平成22年3月末日現在))

■食品のリスクコミュニケーション

→ あるリスクについて、消費者、生産者、事業者、リスク評価者、リスク管理者等の関係者が意見交換等を行い、情報の共有や相互理解を深めること。



農林水産省における環境保全経費のうち化学物質対策関係予算(平成22年度)

単位:千円

大事項名称	中事項名称	概 要	担当局庁等	本年度予算額
農林水産分野の研究開発の推進に必要な経費	レギュラトリーサイエンス 新技術開発事業	食品安全等に関するリスク管理を的確に進め、行政による科学的分析とそれに基づく施策の企画立案(レギュラトリーサイエンス)の充実を図る観点から、危害要因の含有実態等調査・分析(リスク管理行政部局が実施)とあわせ、分析方法や精度管理手法等に関する試験研究及びリスク低減措置の開発等に関する試験研究等の取組を一体的に実施する。	農林水産技術会議事務局	320,000
農林水産分野の研究開発の推進に必要な経費	生産・流通・加工工程における体系的な危害要因の特性解明とリスク低減技術の開発	農畜水産物の生産から流通・加工工程において重要度が高いと考えられる危害要因に対する的確なリスク低減技術を開発する。	農林水産技術会議事務局	455,450
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	食の安全及び消費者の信頼確保対策委託経費	科学的原則に基づいたリスク管理を進めるため、科学的統一的な枠組の下での有害化学物質の実態調査や農薬、飼料及び動物医薬品について、使用基準や残留農薬基準の設定・見直し等に必要な調査・試験を実施する。	消費・安全局	469,079
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	食の安全及び消費者の信頼確保対策事務経費	漁場・養殖場における化学物質による汚染防止対策等を円滑かつ効率的に行い、水環境の保全に資する。	消費・安全局	1,564
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	食の安全及び消費者の信頼確保対策委託経費	愛がん動物用飼料の基準・規格を設定するとともに、検査・監視体制を確立するため試験等を実施する。	消費・安全局	26,797
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	食の安全及び消費者の信頼確保対策事業経費	科学的原則に基づいたリスク管理を進めるため、科学的統一的な枠組の下での有害化学物質の実態調査や農薬、飼料及び動物医薬品について、使用基準や残留農薬基準の設定・見直し等に必要な調査・試験の取組を支援する。	消費・安全局	403,669
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	動物医薬品検査所	薬剤耐性菌発現状況調査、動物用医薬品の環境への毒性評価等を実施することにより環境保全に資する。	消費・安全局	59,518
食の安全及び消費者の信頼確保対策に必要な経費	植物防疫所	我が国未発生の病害虫の侵入・まん延防止を図り、農業生産の安全確保に資するのみならず、侵入病害虫に対する農薬を用いた防除を未然に回避することにより、農薬使用に伴う環境負荷等の低減に資する。	消費・安全局	12,630